

抜群の広域 アクセスを誇ります

豊中市は、阪急電鉄や北大阪急行電鉄、大阪モノレールの鉄道網に加え、名神高速道路や中国縦貫自動車道、阪神高速道路などの幹線道路網が整備されているほか、空の玄関口・大阪国際空港も立地するなど、日常生活やビジネスのうえで、極めて高い交通利便性を誇ります。



- 大阪国際空港から、東京(羽田)へ70分、福岡へ70分
 - 大阪モノレール・千里中央駅から、大阪空港駅へ13分
 - 大阪国際空港から、関西国際空港第1ターミナルへ、バスで70分
 - 阪急・豊中駅から、梅田駅へ12分、神戸三宮駅へ34分、河原町駅(京都)へ50分
 - 北大阪急行・千里中央駅から、新大阪駅へ13分、梅田駅へ19分、なんば駅へ28分
- (所要時間は概算です)

引っ越しからはじまる

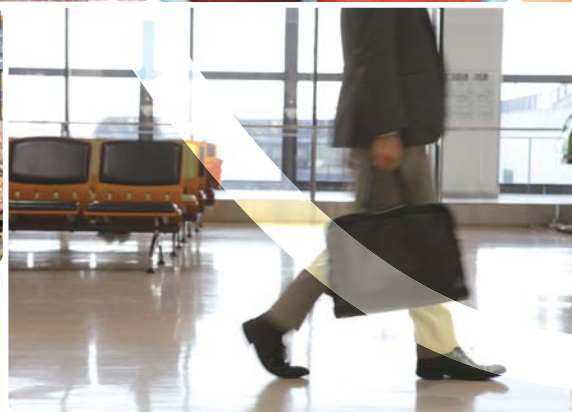
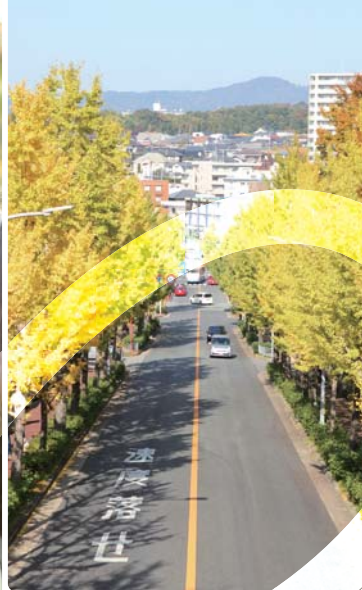
ReLife

TOYONAKA Lifestyle Guide



豊中で、新しい暮らしをはじめませんか。





新しい毎日。新しい自分。
 豊中で、みんなの新しい暮らしが
 待っています。

まだ見たことのない街、人。
 不安もあるけど、引っ越しや転勤は
 新しい暮らし「Re Life」を
 はじめるチャンスです。
 たくさんの方々がこうした人生の転機に、
 ここ豊中を選び、
 家族みんなで新しい暮らしを充実させています。
 そんな先輩の皆さんに、
 ご自身の「Re Life」や、
 子育てのこと、
 街の魅力などを聞いてみました。
 あなたのやりたいことも、まだ知らない可能性も
 きっとこの街で見つかるはず。

ReLife



それぞれのRe Life 01

豊中で生まれた、新しいつながりと絆。

この街で情熱と課題を見つけました。

ドアを開けると懐かしさに包まれた風景。その名も団樂長屋は、学童保育と乳幼児保育を行う、地域の子育て拠点です。「出産して間もなく離婚して“家も仕事もお金もない”状況でどうしようかと」。代表の測上桃子さんは、一人娘を育てるシングルマザー。困っていたとき、知人の紹介で豊中へ移り住みました。大阪市内に勤めながら子育てする日々のなか、豊中の地域ポータルサイトの制作に携わり、豊中での取材を続けているうちにある変化が。「取材を通して、地域のいろいろなお店や団体さんとのつながりができて。私も豊中で根を張って仕事をしてみようと思うようになりました。」自分と同じように子どもの預け先に困っている人たち、子育てで孤立している人たちのために、安心できる場所を作りたい。その情熱だけで、団樂長屋プロジェクトを立ち上げたのが2013年でした。

たくさんの大人たちが支える子育て。

「2人だけの生活で、娘にとって接する大人が少ないことが不安になりました。私自身は、下町で隣近所に可愛がられたり叱られたりしながら、見守られて育ったのですが、この子にはそういうのが希薄で」。子どもたちがもっといろいろな世代の人と触れ合える場所が必要だと考えた測上さん。子どもが楽しめる多世代交流イベントを開催し、

様々な団体を巻き込んでいきました。昔遊びを教えるシニア団体。夏に開催する流しそうめんの竹は竹林保全団体が提供してくれます。ハロウィーンには長屋をお化け屋敷にして、お化け役は市民劇団が担当。まさに、「子どもを真ん中にした多世代交流の拠点」がここにあるのです。「子ども記者が地域を取材する『だんらんしんぶん』でも、皆さんとても歓迎してくれます。カラオケ喫茶の取材では、みんな知っている童謡を歌ってくれたり。新しいつながりが生まれると、どんどん地域に愛着を感じます」。



“つながりの街”豊中で、これからも。

もうすぐ娘さんが小学校に入学するのを機に、ご自身も地域の活動に関わっていきたくと語る測上さん。「豊中ってすごくいろいろ活動されている方が多いんですよ。だから、自分に合ったコミュニティを見つけるもよし、思い切って作ってしまうのもよしだと思います。ちゃんとサポートしてくれるし、横のつながりもできていく。つながりを作っていくと、より豊中生活が楽しくなるんじゃないでしょうか」。

だんらんがや
団樂長屋プロジェクト 代表
測上桃子さん

それぞれのRe Life 02

豊中で見つけた、新しいライフスタイル。

家族の笑顔が生活の安心に。

以前は茨城県に住んでいた大竹さん一家。「転勤が決まって、会社の人に住むのはどこがいいか相談したら、大阪なら北摂がいいんじゃないかと。中でも、通勤しやすい豊中に決めました。夫・寿幸さんの職場は大阪市内。電車一本で、しかも始発駅があったのが魅力でした。豊中に決めたもうひとつの理由は、関東を出たことがなかった妻・愛さんの心配事。「関西での生活に馴染めるかとても不安でした。でも豊中にはいろんな場所から来られた方が多く、転勤者にやさしい街だと聞いて、ここにしようかなと」。2014年4月、豊中での新生活がスタート。愛さんは積極的に外に出て歩き回り人と関わりを作るようにしました。「いい意味で大阪らしさがなくて、安心しました」。息子・寿佑くんも持ち前の明るさですぐに友達が増えていきました。「家族が早く馴染んでくれたのがなによりですね」。寿幸さんも、家族の明るい表情にほっとしたそうです。

新しい暮らしの楽しみ方がありました。

臨床心理士としての仕事も続けている愛さんは、豊中で新しい趣味に出会いました。「月2回、フラダンスに通ってるんです。子ども連れでもOKだからと友達に誘われて、行ってみたらハマって」。サークル的な雰囲気、娘・侑芽ちゃんも楽しく遊んでいるそうです。さらに、これからは英会話にもチャレンジ

豊中市 在住
大竹さんファミリー

してみたいのだとか。寿幸さんは、豊中に来てから公園に行くことが増えました。「豊中は緑と公園が多いのがいいですね。大きな公園もあるので、子どもたちとよく遊びに行くようになりました。息子がサッカーをはじめたら、一緒にやりたいんです」。寿佑くんも侑芽ちゃんも公園で遊ぶのが大好き。「先日、街で声を掛けられたんです。今度豊中に引っ越してくるので、住んでる方の意見が聞きたいと。『いいところですよ』って」。その後、公園の場所を尋ねられたそうです。「やっぱりみんな公園が近くにあるか、気になるんでしょうね」。

豊中は、住み続けたい街。

この先、また転勤があるという寿幸さんですが、どこかで家を買うなら豊中がいいと、探していた時期があったそうです。「人気が高いエリアだということもありましたが、同じ境遇の人が多から、転勤者には住みやすいですね。豊中に住んで良かったと思います」。



＼ 豊中のこと教えてください！ ＼

転勤者の皆さんに聞いてみました！

豊中市の千里文化センター「コラボ」。ここでは、転勤で引っ越してきた方々が集まり、日常の相談事から、気軽な地域の話題まで、誰でも参加できて何でも語り合える「転勤族カフェ」が開催されています。参加者のお子さんの賑やかな声が響くなか、お話を伺ってみました。



転勤者が多く暮らす街、豊中

引っ越しにあたっては、多くの方が職場など知り合いからの口コミや、WEBで情報を集めています。それでも、知り合いがいない、子どもが学校になじめるかなど、新しい土地での暮らしには心配事がつきません。そんなときに、同じような悩みを抱え、乗り越えてきた先輩がたくさんまわりに住んでいることは安心感につながります。豊中での暮らしは、「いろんな土地から来た人がいるので、有名な「関西弁」のことも含めて、無理に合わせる必要がないのがいい」と、ほっとする声が多く聞こえます。「子どもも、なじむのがすごく早かったです。周囲に転校生が多いので、受け入れられやすい土壌があるんだと思います」。

のびのび、安心の子育て

子育ての環境は、小さい子どもがいる転勤者にとって大きな関心事。全国各地での生活経験が豊富な参加者の皆さんは、各都市の子育て支援制度にも精通されています。「雨の日でも子どもたちが気軽に立ち寄れる児童施設がもっとあれば」、「子どもへの医療費助成の充実を」など、以前に住んでいた都市と比較のご意見も聞かれました。また、子ども園にスムーズに入れるかどうかは、どの都市に行っても切実な問題です。それでも、「気軽に立ち寄れる子育て支援センターや公民館、図書館が近くにある」、「子どもを対象にした催しや行事が多い」、「公園がたくさんある。緑も多く、いつも子どもたちと近くの大きい公園に出かけます」といった点を含め、豊中は「子どもたちがのびのび遊ぶことができ、安心して子育てできる」という声が多く聞かれました。立地や交通の便がよく、近隣都市の公園やアミューズメント施設にもよく出かけているそうです。子育ての話題は豊中の教育へも。「豊中は教育に熱心な土地だなと思います」。子育てや教育に関して自分なりのしっかりとした考え方を持っている方が多くて、自分の子育てにもプラスになると話す人もいます。



出会いとつながりの場

学校などで自然と仲良くなる子どもたちとは違い、大人同士がつながりを築く機会は、日常の暮らしの中で多くはありません。「自分から動く」。参加者の多くが口にした言葉です。「とにかく外に出て歩き回った」、「自分から人に声をかけるようにした」など、新しい土地に溶け込む努力を続けたと言います。それでも、なかなかきっかけがつかめず、また、何度も転勤を繰り返すがゆえにその土地に深く根を張るような積極的な関わりができないといった不安な気持ちや辛さを明かしてくれました。転勤族カフェはそうした不安を和らげてくれる場所のひとつ。おしゃべりをしたり、子育てなどの悩みを相談したり、皆さん、ここで知り合いの輪が広がったといいます。「赤ちゃん連れでもゆっくりできるし、買い物ついでに気軽に立ち寄れるのもいいですね」。ここでの出会いをきっかけに、徐々に気持ちが前向きになったという参加者も多いようです。



転勤族カフェだけでなく、ここ「コラボ」では、市民実行委員会が講座の企画や喫茶店の運営、屋上庭園の管理など、様々な事業を企画、運営しています。こうした盛んな市民活動も豊中の特徴のひとつ。市内の南部地域には、「南部コラボ」開設の計画が進行中です。また、豊中駅前には、市民公益活動など、主体的に活動に関わってみたいという方々をサポートする市民活動情報サロンも設置されています。

同じ悩みや思いを共有する人がまわりにいる安心感。豊中は転勤者の皆さんにとって、安心して暮らせる街です。多くの人が、転勤による不安な気持ちや辛さを抱えながらも、前を向いて豊中での新しい暮らしを始めています。

千里文化センター「コラボ」転勤族カフェ

「コラボ」の事業を企画・運営する千里文化センター市民実行委員会が主催。転勤者が多い千里ニュータウンの地域特性を活かし、平成24年からスタート。市の千里地域連携センターがサポートしています。「転勤者あるある話」で盛り上がり、先輩転勤者から、買物や病院など暮らしに欠かせない生活情報を教えてもらったり。悩みを分かち合い、新しい仲間づくりに心強い集まりです。



原則、毎月第2金曜日に開催。予約不要。性別や年齢を問わず、自由に何度でも参加できます。開催日時は広報とよなか、とよふあみで確認か、下記へ問合せを。

千里文化センター「コラボ」 住所 豊中市新千里東町1-2-2 電話 06-6831-4133

豊中のおでかけスポット

憩う

千里中央公園・千里東町公園

広大な千里中央公園と、ハナショウブが鮮やかな千里東町公園。ともに、緑豊かな住環境を誇る千里ニュータウンを象徴する公園です。



千里中央公園。森の中を滑走する総延長150mの滑り台が大人気



千里東町公園。都心に隣接しながらも、竹林に囲まれた静かな空間が広がります

服部緑地

大阪府内で最大級の広さを誇ります。レジャープールや野外音楽堂のほか、乗馬センター、都市緑化植物園などもあり、家族でのんびり楽しむことができます。



公園中央にある円形花壇

学ぶ

日本民家集落博物館

日本各地の代表的な民家を移築復元した、日本で最初の野外博物館。うち3棟が国指定重要文化財に指定されています。



飛騨白川の民家

大阪大学総合学術博物館

豊中キャンパス内にあり、構内で発掘されたマチカネワニの実物化石と復元骨格などを展示。建物は平成20年に国の登録有形文化財に登録されました。



ショッピング

豊南市場

対面販売が魅力の活気あふれる市場です。肉や魚、野菜、果物など、食に関することなら何でも揃う、まさに北摂の台所。



大阪国際空港

土産物だけでなく、レストランや服飾店、雑貨店などが軒を連ねます。ターミナルビル4階の展望デッキ「ラ・ソラ」では、飛行機の離着陸の様子を一望でき、定期的に様々なイベントも開催。



千里中央

北大阪屈指の住環境を誇る千里ニュータウンの中心にある商業エリア。せんちゅうバルやセルシー、百貨店など、魅力的なショッピング空間が広がります。全国各地の観光物産展や音楽イベントが絶えず開催され、多くの人で賑わっています。



千里川土手

知る人ぞ知る、豊中の隠れた観光スポット。着陸目の飛行機が頭上をかすめ、まさに迫力満点。



豊中のおすすめイベント

豊中まちなかクラシック

教会や寺院、歴史的建造物等を会場に、日本センチュリー交響楽団が特別に編成した多彩なアンサンブルを楽しむ、豊中ならではのクラシックコンサート。



桜の庄兵衛ギャラリー

豊中子ども音楽フェスティバル

小中学校や高校の吹奏楽部などが勢ぞろい。豊中の子どもたちによる音楽の祭典です。



箕面自由学園高等学校吹奏楽部の演奏

日本センチュリー交響楽団

平成元年創設。平成24年に豊中市と「音楽あふれるまちの推進に関する協定」を締結。「豊中まちなかクラシック」ほか、「世界の庄内音楽ワークショップ」など、音楽を通して地域の活性化に尽力。平成28年度からは市立文化芸術センターの指定管理事業に携わる。



子どもクリエイティブガーデン

「子どもの創造性を育む」をテーマに、アートや音楽などのワークショップを通して、子どもたちの自由な表現活動の機会の充実を図ります。



アートカードでゲームに挑戦

豊中まつり

毎年10万人以上が訪れる、豊中の夏の風物詩。



沖縄をテーマにした沖縄音舞台がフィナーレを飾ります

とよなか産業フェア

市内の企業やお店などが集まり、自慢の技術や商品、サービスを紹介。ロボットの組み立て、電車の運転、キャピアテンド体験、手打ちうどんなど、「しごと体験・展示コーナー」は、子どもたちに大人気です。



他にもいろいろなイベントが！

豊中産の旬の野菜を購入できる「町と畑を繋ぐ地産野菜マーケット Soil&HAND」や、ハンドメイド作家が集う雑貨マルシェ「おくるフェス」など、あちこちの地域で多彩なイベントが開催されています。



おくるフェス

地産野菜マーケット

安心・充実！

豊中の子育てサポートの取り組み

小・中学校での取り組み

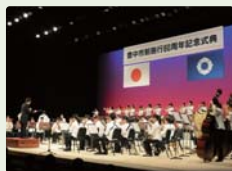
多様な学びを通して、子どもたちの豊かな創造性を育みます。

●音楽あふれる学校園づくり

大阪音楽大学と連携し、子どもたちが学生の生演奏を聞いたり、伝統芸能に触れたりするサウンドスクールをはじめ、多彩な音楽の取り組みは豊中の学校の魅力です。



サウンドスクールの様子



市立第十一中学校吹奏楽部。全日本吹奏楽コンクールに5回出場し、金賞1回、銀賞4回の実力を誇ります



●フレンドシップスクール

小・中学校11校が、4か国の各学校と提携。環境問題やコミュニケーションを共通の学習テーマに、協働学習に取り組んでいます。

●未来の科学者の育成を推進

理科展では、小中学生が理科の自由研究の作品を出展。最も魅力的な展示に、ノーベル物理学賞受賞者の南部陽一郎さんの名前を冠した賞が贈られます。同展期間中には、近隣の高校・大学の科学クラブ等が参加する科学教室も開催。



理科展の様子

●外国人英語指導助手の活用

小学校高学年と中学生を対象に、外国人英語指導助手が、チーム・ティーチングにより授業支援を行い、外国語活動等の充実を図っています。

●放課後子どもクラブ

放課後に帰宅しても仕事等により保護者が居間家庭にいない小学4年生までの児童(支援学級・支援学校在籍児童は小学6年生まで)を対象に、子どもたちが遊び、学ぶ場所を提供しています。全41小学校で実施。
・開設時間＝放課後～午後7時。長期休業中は午前8時～午後7時。土曜日は午前8時～午後5時

●地域子ども教室

子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりのため、スポーツや文化活動を通して、子どもたちが地域の大人と交流し、楽しく過ごしています。校区ごとに実施。
・活動日：土曜・日曜、放課後など
・活動場所：小学校など

未就学児を対象にした取り組み 子育ては支え合いとつながりの中で。

●子育て支援センター

市内16か所の地域子育て支援センターは、子育て中の親子が気軽に立ち寄れる場所。年齢別のイベントや、青空のもと思い切り体を動かす「公園であそぼう」などを開催しています。地域の子育て拠点の中核となる子育て支援センターほっぺには、土曜日でも遊べるプレイルームを完備しています。



●関西初の公園内保育所を整備

平成30年4月の保育所待機児童解消のため、保育施設の確保に取り組んでおり、その一環として、平成29年10月(予定)にふれあい緑地と羽鷹池公園に、公園内保育所を設置します。



整備予定地のふれあい緑地

●病児保育

お仕事等の都合によりご家庭で看病できない時には、市内の2施設で一時保育が利用可能。いずれも看護師と保育士を配置しています。
・年齢：満1歳から小学3年生まで
・病気の程度：発熱や下痢、風邪など、家で過ごすことができる程度の病気



●子ども医療費助成制度

小学6年生(12歳到達後最初の3月31日)までの子どもが対象。所得制限なし。一部自己負担金あり。

●えほんはじめまして

4か月児健診を受ける親子に絵本をプレゼント。図書館職員とボランティアの読み聞かせて絵本の楽しさを届けます。

●こんにちは赤ちゃん訪問

地域支援保育士や保健師らが、生後2か月から4か月の乳児がいる全世帯を訪問。子育ての悩みも相談できます。

●子育て・子育て応援サイト「とよふあみ」

子育てに関する行政サービスやイベント情報がいっぱい。便利なスマートフォン向けアプリもご利用いただけます。



●とよなか子育て応援団

このシンボルマークがあるお店では、例えば、授乳やおむつ替えスペース、おもちゃなど、子育てで家庭が利用しやすいように配慮したサービスを提供し、お出かけをサポートします。



とよなか子育て応援マガジンSMILE

豊中で子育て中のママたちがボランティアで作成している子育て情報誌です。



団楽長屋

世代間の助け合いをめざして、市民が立ち上げた「多世代でつながる子育て空間」。お互いの「困った」と「得意」をつなげます。乳幼児保育(平日)と学童保育(土曜)を運営するほか、親同士や多世代交流の場を提供しています。



ガンバ大阪アカデミー・豊中市はガンバ一つ。服部緑地では、年長から小豊中のスクールが

ジュニア豊中 大阪のホームタウンの内の人工芝グラウンド6生までのジュニア開催されています。



☎ こども総合相談窓口

0歳から18歳までの子どもと家庭に関する悩みを一緒に考えます。一人で悩まず、相談してください。

電話番号 06-6852-5172

営業日時 月曜から金曜(祝日および年末年始を除く) 午前9時から午後5時15分